

平成25年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	消防団運営事業			
予算科目	9 款 1 項 2 目			
総合計画での位置付け	住環境の整備と生活安全の確保～はつらつ住みよいまちづくり～ 消防・防災・安全の確保			
所管課情報	担当課:	防災安全課	電話番号(内線):	982-0657
記入者情報	所属長:	新田 亮仙	担当責任者:	水口 盛文
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 18 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	一般市民			
根拠法令等	伊予市消防団の設置等に関する条例			
事業の目的	伊予市消防出初式及びポンプ操法大会での受賞者へ記念品を贈り、団員の士			
事業の内容	消防団員の貸与品の整備			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	今年度も女性消防団員を全国消防団員活性化ぎふ大会に参加し、女性消防団員の活動等における意見交換を実施することで今後の活動に活かしていく。			
改善策の 具体的 取り組み	消防団員として、消防業務に精通し、他の模範となる者を表彰規定に基づき幹部の推薦を得て申請している。女性消防団員に於いても、入団して10年が経過し、知事表彰の該当者として申請している。女性消防団員の全国大会参加については、全国の活動事例や啓発活動を参考にして、本市の女性消防団員も熱心に取り組んでいる。			

事業費及び財源内訳					
項 目		24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算
事業費	直接事業費	6,892	8,740	4,009	7,788
	人件費	5,199	5,287	5,287	5,287
	合計	0	14,027	9,296	13,075
人件費 内訳	人工数	0.65	0.65	0.65	0.65
	人件費単価	7,999	8,135	8,135	8,135
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	5,199	5,287	5,287	5,287
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	12,091	14,027	9,296	13,075

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	24年度実績	25年度予定	9月末の実績	25年度実績
各種訓練会場使用回数	回	54	60	17	26
消防団福祉共済制度掛金	千円	3228	2430	2430	2430
愛媛県消防協会会費	千円	338	351	351	351

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の実績
	7,500	7,600	7,500	7,600	7,500	37,700

成果指標				
成果指標	消防団員の育成事業の充実を図るため、全国大会規模の研修会に参加させ活動事業を拡大し、市民に火災予防等の啓発を図る。(目標)17名 (実績)9名(今年度2名、平成23年度5名、平成24年度2名)			
指標設定の考え方	女性消防団員にソフト面の充実を図るため、火災予防等啓発活動を推進する。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	目標24年度
目標	0	100%	0	0
実績	0	53%	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	5	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	5	
課題認識	今年度末に、女性消防団員の定例会を開催し、来年度からの女性消防団員活動業務を検討しました。現在、応急手当普及員の資格を習得している9名と来年度5月に8名が応急手当普及員の資格を習得し活動することを目的にしました。また、救急をテーマにした寸劇を計画しました。これも、全国女性消防団員活性化大会に参加し、女性消防団員による活動事例及び火災予防啓発劇等の発表に刺激されたものです。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	今年度から女性消防団員の活動についての団員による本格的な検討が始まり、今後特性を活かした活動が展開される見通しが開かれ、全国大会への派遣を継続した成果が現れ始めたと思われる。ただし、女性消防団員全国大会への派遣自体又は人員をはじめ、訓練や式典の経費の内容について費用対効果の面から引き続き精査をする。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	消防団員の確保が厳しくなってきた今日、自主防災会との連携や企業、事業所の役割も重要であることから、大いに啓発に努めること。

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

下記の点を見直しの上、継続する。

意見、課題

二次評価の内容を踏まえ見直すこと。